

令和2年度
春期企画展

の

海苔

の

り

の

川

かわ

り

の

り

！

2021.1.23(土) ▶ 4.4(日)

【開館時間】9:00～17:00 【休館日】月曜日

※開館日・開館時間・イベント等については、今後の諸事情により変更する場合があります。

【入場料】一般410円(240円) 学生200円(120円)

※()内は20名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方は無料

埼玉県立川の博物館
SAITAMA MUSEUM OF RIVERS

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39

TEL:048-581-7333 FAX:048-581-7332

URL:https://www.river-museum.jp

Twitter @kawashirou Facebook @SaitamaMuseumOfRivers



埼玉県マスコット
「コバトン」

彩の国
埼玉県

モノクロ図版▷『江戸名所図会』より 左上▷スサビノリ(千葉県立中央博物館分館海の博物館) 左下▷カワノリ 右下▷川苔づくり(八木橋信吉氏撮影)

令和2年度
春期企画展

のりかわのり 海苔川苔のりのり!

川の終わりの海で育つ海苔と、始まりの上流で育つ川苔を紹介します。人とのりとの関わりから、生き物としてののりについて紹介します。

展示構成

1. 海苔

板海苔の始まりは、江戸で作られ売られた「浅草海苔」です。荒川が注ぎ込む東京湾は、かつて日本一の海苔漁場でした。昭和前期まで東京湾で使用されていた海苔の生産道具を展示し、のりの養殖と海苔作りについて紹介します。また、海苔の原料となるスサビノリやアサクサノリを中心に、のりの標本を展示し、生き物としてののりについて紹介します。



東京府従多摩川至江戸川
海苔採場実測図
(川越市立中央図書館)



スサビノリ
(千葉県立中央博物館分館海の博物館)



海苔採り
(大田区立郷土博物館)

2. 川苔

川苔は川の上流で生育し、海の手苔とは全く別の生き物です。生育場所が限られ、絶滅危惧種にも指定されています。しかし、海苔よりも早く板状の製品となり、献上もされていた歴史があります。荒川上流域で使用されていた川苔作りの道具とともに、各家独自の川苔作りを紹介します。また、荒川産のカワノリ標本を展示し、その生態を紹介します。



川苔作り①
(八木橋信吉氏撮影)

川苔作り②



カワノリ

関連イベント (詳細はホームページを参照、またはお問い合わせください。)

●海苔づくり体験

2月11日(木・祝)

時間: ① 10:00 ~ 12:00
② 14:00 ~ 16:00

参加費: 400円
定員: 15名

海苔を自分で作ってみよう。
かわはくで板海苔作りに挑戦します。

要事前申込み

●のりの標本をつくろう

2月23日(火・祝)

時間: 13:30 ~ 15:00
参加費: 100円
定員: 15名

生き物ののりはどんな色や形をしている? のりを観察して、標本を作ります。

要事前申込み

●展示解説

1月24日(日)

2月14日(日)

3月7日(日)

時間: ① 11:30 ~
② 13:30 ~

サテライト展示 「水の中の植物 藻類」

2021年2月9日(火)~6月20日(日)

「も」や「こけ」と呼ばれる川や池の藻類を、標本と写真で紹介します。



住所: 〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園 39

電話: 048-581-7333

FAX: 048-581-7332

URL: <https://www.river-museum.jp/>

開館時間: 9:00 ~ 17:00

入場料: 一般 410円(240円) 学生 200円(120円)

※()内は団体料金 ※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方は無料

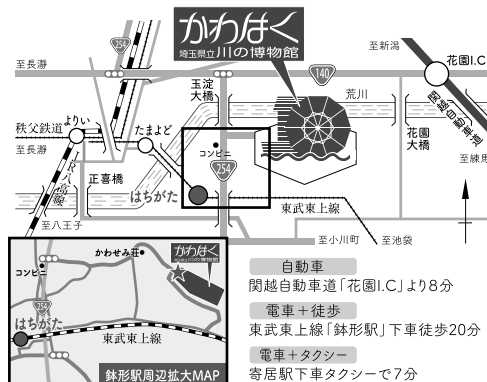
駐車料金: 普通車 300円 バス 1030円



@kawashirou



@SaitamaMuseumOfRivers



協力

大田区立郷土博物館・大森海苔のふるさと館・川越市立中央図書館・埼玉県立文書館・千葉県立中央博物館分館海の博物館・東京海洋大学・東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム・石川金衛・井上かおり・菊地則雄・金萬智男・中村綱秀・二羽恭介・馬場守・山中豊彦 (順不同・敬称略)